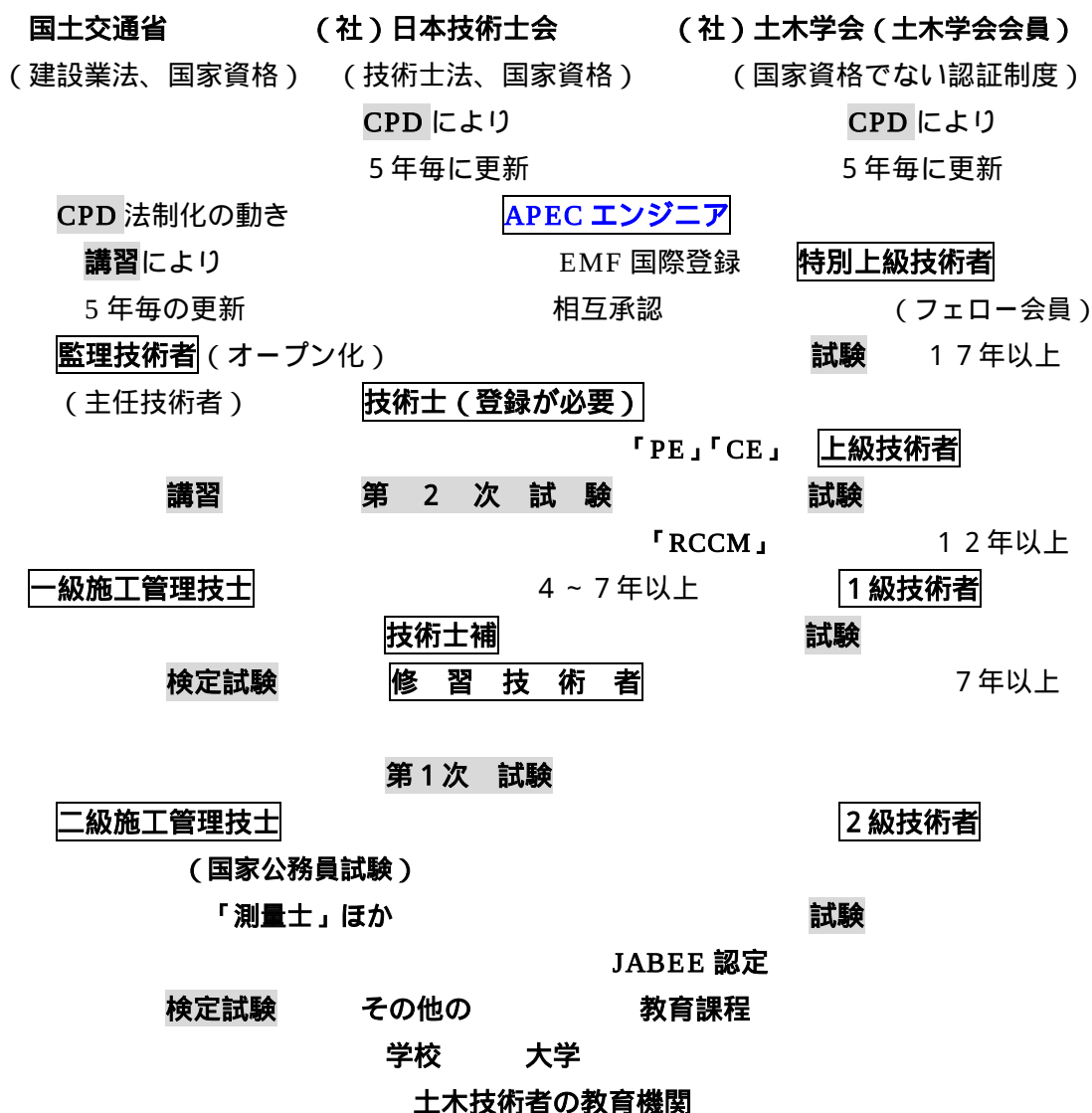


土木技術者は社会から正当に評価されているか？

- 資格・認証制度の国際性を考えてみよう -

富永技術士事務所 フェロー会員 ○富永 眞生

1. いろいろな資格と称号の現状と課題



(図 - 1) 主要な土木技術者資格・称号の現状

キーワード 土木技術者の資格と称号、技術者の流動化、専門教育と生涯教育、国際的品質保証

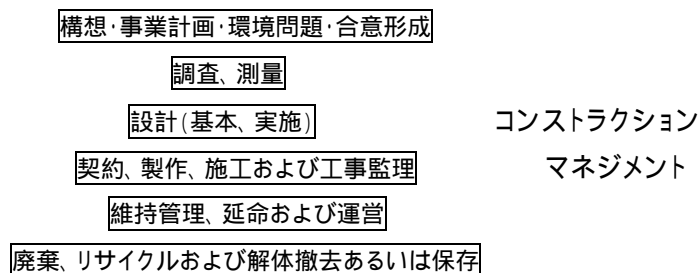
連絡先 〒236-0017 横浜市金沢区西柴 2-18-10、富永技術士事務所、tominaga@mtc.biglobe.ne.jp

2. 今後10年間で土木技術者の流動化が進行する

土木技術者に求められる資質・能力は以下に要約される。

- A 専門的能力・知的な人間的魅力を持った土木技術者
 - B 倫理観を持ち、技術によって社会貢献のできる土木技術者
 - C 地域社会の人々とのコミュニケーションができる土木技術者
 - D 国際的に通用する（英語で仕事のできる）土木技術者
 - E ISOなどの国際規格、規準、法律に知悉した土木技術者
 - F APEC エンジニアのような国際資格を有する土木技術者
 - G 相手国スタッフと多国籍要員をマネージできる土木技術者
- （歴史、文化、社会、政治、宗教、習慣などを理解できる）

また、土木技術者には（専門技術力＋総合マネジメント力）が求められる。



（図 - 2）プロジェクトの基本的なライフサイクル

3. 専門教育と生涯継続教育の仕組みづくり

土木技術者に必要な専門教育は次の3分野と3段階が重要と考える。

- 1) 学問、技術の基礎と応用の研究者、教育者（学校経営者）
- 2) 調査、設計、製作、施工、工事監理、メンテナンスの専門技術者、技能者
- 3) コンストラクションマネジメントの実務者、総合マネジメントの経験者
 - ・IPD (Initial Professional Development) 高等教育、専門教育
 - ・QPD (Qualifying Professional Development) 実務経験習得、資格取得
 - ・CPD (Continuing Professional Development) 生涯継続教育、知識獲得、能力開発

土木技術者の職業資格としての国際的品質保証の仕組み（相互承認）が急がれる。国際的にはAPEC エンジニアのルートしかないのか？土木学会はODA 案件などを通じて国際社会に戦略的な展開を働きかける必要があることを痛感する。

（参考文献）

- 1) 建設業法、同施行令、同施行規則、技術士法
- 2) <特集> 開発途上国での奮闘、土木学会誌、pp003-039、Vol.89、No.3、2004
- 3) 木村 孟：評価される大学、土木学会誌、Vol.89、No.2、2004
- 4) <特集> 本格化する土木分野のグローバルスタンダード時代、土木学会誌、pp003-039、Vol.88、No.5、2003
- 5) 技術者の充実したキャリアパスを目指して、土木学会平成15年度全国大会研究討論会